

志賀原子力発電所 1 号機原子炉隔離時冷却系格納容器隔離弁不具合について

本日午後 2 時 4 0 分に北陸電力(株)から、原子炉隔離時冷却系^{※1}の格納容器隔離弁^{※2}において不具合が発生したと連絡があった。

志賀原子力発電所 1 号機において、原子炉隔離時冷却系配管に設置されている格納容器隔離弁の月例点検を実施したところ、格納容器の内と外の隔離弁のうち、内側の隔離弁の閉信号がこなかった。

当該弁が、実際に閉となっていないのか、閉となったにもかかわらず、表示が正常でないのかについては、調査中。

この弁が動作しなかったため、北陸電力(株)の保安規定の定めにより、運転上の制限を逸脱したという宣言がなされた。

北陸電力(株)では定めに従って、外側の隔離弁の閉操作を行っている。

今回の弁の復旧のための余裕は、10 日間であり、この期間を超えた場合は、原子炉停止となる。

本件は、連絡基準Ⅱ(2)の速やかな連絡に該当する。

※1 原子炉隔離時冷却系・・・格納容器の外部の配管で漏洩が有った場合、原子炉と格納容器の外部とを切り離すが、この場合の原子炉の冷却を行う系統。

※2 格納容器隔離弁・・・・・・原子炉と格納容器の外部とを切り離すための弁。格納容器の内側と外側にある。

(参考) 原子炉隔離時冷却系は、バックアップ系統であり、停止時の原子炉の冷却は、通常は残留熱除去系等により行われることとなっている。

参考) 北陸電力ホームページ : <http://www.rikuden.co.jp/news/04051201.pdf>

平成 16 年 5 月 12 日 原子力安全対策室 (直通) 076(225) 1465 (県庁内線) 4 2 3 4
--